

施策体系 主な事業

「はじめるきっかけ」を支援

障害理解推進事業	障害福祉課
かしわフレイル予防ポイント	福祉政策課 地域包括支援課
学校支援ボランティア	学校教育課
夏ボラのススメ	社会福祉協議会

「もっと知りたい、つながりたい」を支援

市民活動講座	協働推進課
障害者活動センター運営事業	障害福祉課
福祉喫茶コーナーの運営事業	
ママパパサロン	地域保健課
地域子育て支援拠点事業	子育て支援課
放課後子ども教室	生涯学習課
分館活用事業	図書館
地域アーカイブ事業	
地域学校協働活動	学校教育課

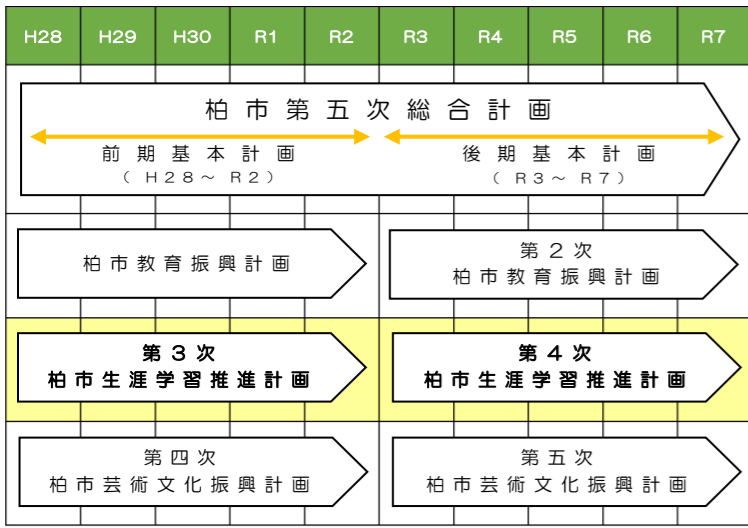
「ひろく伝えたい」を支援

地域活動支援補助金	地域支援課
地域づくり事業	中央公民館
地域学校協働活動推進員の養成	学校教育課
地域いきいきセンター	社会福祉協議会

情報提供による学びの支援

子育て支援情報提供事業	子育て支援課
生涯学習情報提供システム	
ライフスタイルに合わせた学習コンテンツの提供	生涯学習課

計画の位置付け・期間



新しい生活様式に合わせた学び

オンラインの取組
動画配信・SNS発信等

- かしわミュージアム
- おうちdeトレーニング
- これから赤ちゃんを迎える方へ
- 子ども向け工作動画
- 家庭教育支援 子育て通信
- オンラインビブリオバトル など

第4次柏市生涯学習推進計画

概要版

笑顔と元気が輪となり広がるまち柏
～学びを通じた地域活性化～



生涯学習の理念

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。
(教育基本法第3条「生涯学習の理念」)

計画の特徴

- 環境整備で学びを後押し**
一人一人の学びが生きがい・やりがいにつながり、更に日々の生活の充実につながるよう、支援します。
そのために、生涯学び、活躍できる環境を整えます。
- 目指す方向性を明確化**
生涯学習振興によって進める基本方針を、「子ども」・「コミュニティ」・「環境整備」をキーワードにした3本としました。
- 学びの発展・循環を段階的に支援**
楽しさをベースにした学びなどの「きっかけづくり」から始め、「他者とのつながり」、そして「学びの発展・循環」へと段階的に支援します。

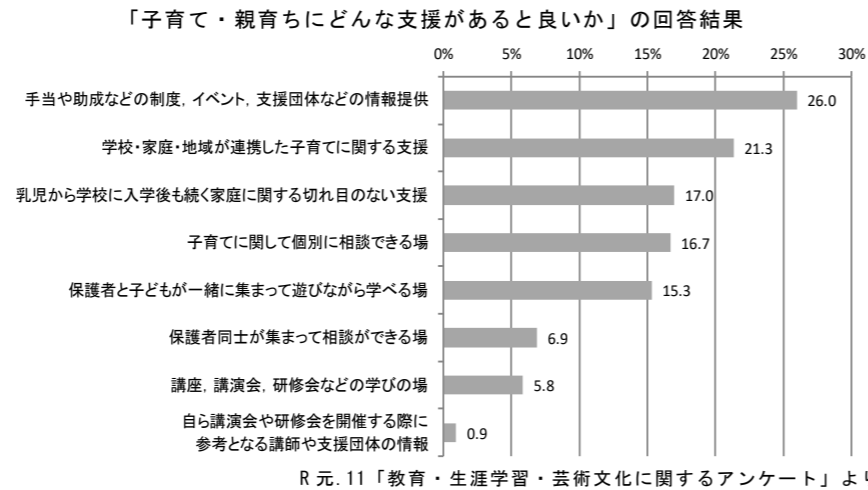
基本方針（目指す方向性）

1 子どもたちが健やかに成長するように

家庭や学校、地域は、各々、子どもたちの成長に重要な役割を果たすものですが、ライフスタイルの多様化や核家族化に加え、柏市では転入者の増加などにより、子どもの育ちと地域の関係が薄れつつあります。

そこで、保護者・親子が集まり、仲間を作ったり、学び合ったりできる機会の提供や、相談体制の充実等の取組により、不安や悩みを解消できる環境づくりを進めます。

今、子どもたちを全世代で、また、地域総がかりで育む視点が求められています。そして、その環境で育った子どもたちが未来の地域の担い手となり、自己の志の実現を図れる社会にしていくなことを目指します。

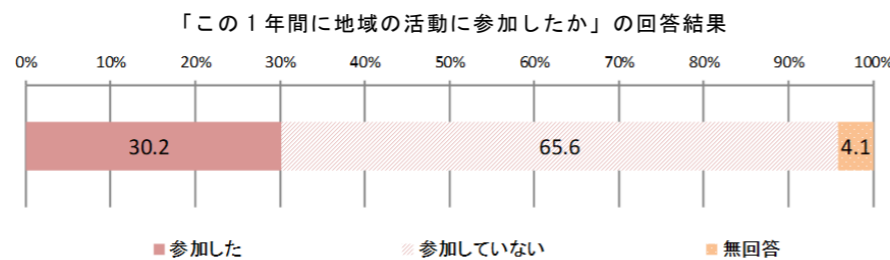


2 コミュニティの中に人と人のつながりが増えるように

超高齢社会を迎えた今、地域力の低下と地域の担い手不足の解消は喫緊の課題です。

そこで、地域のために何かをしたいと思っているけれどまだ動き始めている人、きっかけがあれば地域貢献したいと思っている人と、地域をつなぐことに取り組みます。

若い世代も含めた人材の発掘・育成へと広げていくことを目指すために、楽しさをベースとした学びを入口とすることも想定しつつ、これをきっかけに活動を活発化させ、市民が主体的に地域の課題を解決していく持続可能な地域づくりをすすめます。



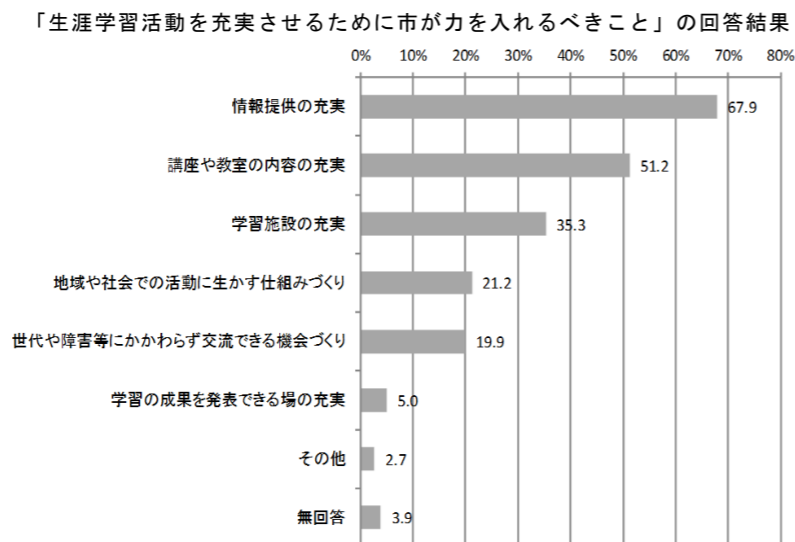
3 すべての人が学べる環境に包まれるように

学ぶ人一人一人が求める情報を得られる状態を目指し、障害の有無、言語や時間・経済的制約等に関わらず、いつでも、どこでも、だれでも学ぶことができる環境作りを様々な形で支援します。

学んだ成果を地域で生かすことで、生きがい・やりがいを感じられ、自分自身が地域の一員であり主役であることの喜びや充実感の中で生活できることを目指します。

一方、地縁による人のつながりを支援するとともに、目的や課題意識を共有する人同士のつながりによる市民グループやボランティア組織などの育成も欠かせません。

これらの活動を促し育成する支援を、行政機関が個別に行うのではなく、連携することにより、一人一人の学びと生活の充実が地域貢献につながっていく好循環を作り出すことを目指します。



基本方針（取組方針）

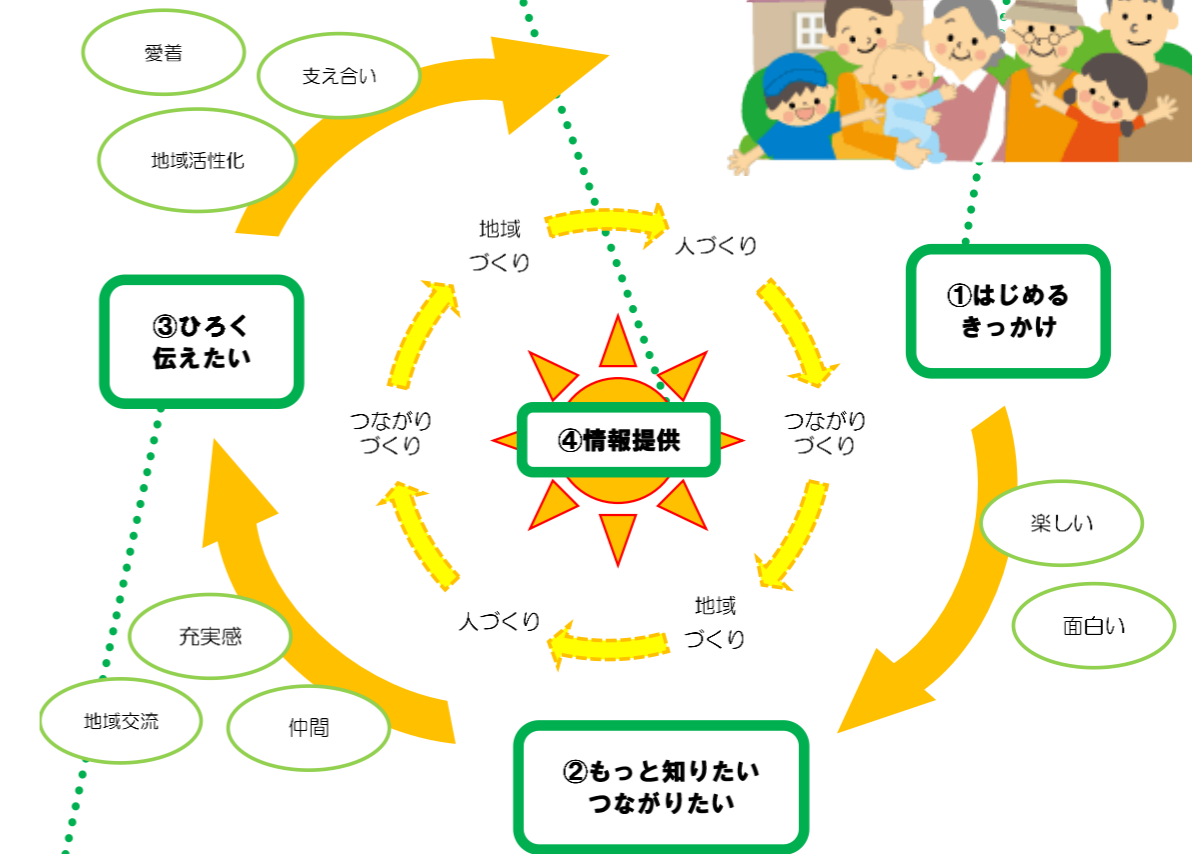
目指す方向性を実現するための段階的支援のイメージ
一人一人の学びと生活の充実が地域の力につながっている好循環

④ 情報提供による学びの支援

情報提供は全ての段階に共通して求められる支援です。これを的確かつ効果的に行えるよう、一元的な生涯学習情報の提供に取り組みます。また、新しいライフスタイルに合わせて様々なツールを活用した学習機会等を拡充することで、効果的な学びを支援します。

① 「はじめるきっかけ」を支援

楽しさをベースにした学びなどのきっかけづくりをすることで、あらゆる世代の社会参加を促し主体的に活動できるよう工夫します。また、障害の有無、言語や時間・経済的制約に関わらず共に学ぶ環境の充実に取り組みます。



③ 「ひろく伝えたい」を支援

学びから広がる交流の輪は、更なる学びや活動のきっかけとなり、学びの循環が生まれます。学んだ成果を伝える活動は地域の活性化につながるだけでなく、自らが地域の一員であり主役であることの喜びや充実感を生みます。同時に、人から受け取った楽しさや優しさを別の人におくる、学びあい・支えあいの循環にもつながると期待されます。

② 「もっと知りたい、つながりたい」を支援

楽しい！面白い！という気持ちから、もっと深く知りたい！へ。独学による自己の充足はもちろん、仲間と共に学ぶことで人とのつながりが生まれます。学びによるつながりは、地域交流や連帯感を深め、コミュニティの活性化につながると期待されます。

人づくり：自主的・自発的な学びによる知的欲求の充足、自己実現・成長
 つながりづくり：住民の相互学習を通じ、つながり意識や住民同士の絆の強化
 地域づくり：地域に対する愛着や帰属意識、地域の将来像を考え取り組む意欲の喚起
 住民の主体的参画による地域課題解決

「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」中央教育審議会答申（平成30年12月21日）